

## 【議事録】始良市地域ケア個別会議（令和3年7月 2事例目）

### 1. 開催日時

令和3年7月20日（火）19時00分～19時30分

### 2. 事例対象者

年齢	性別	要支援要介護度
84才	女性	要支援2

### 3. 生活行為に関する課題

#### 【課題】

両変形膝関節症、右変形性股関節症で疼痛強い。加齢や病状悪化とともに歩行状態も悪化。過活動膀胱による尿失禁もある。外出が困難になって、閉じこもりで活動量が低下している。認知症もあり。

#### 【個人因子】

勝ち気でプライドが高い。自分の間違いを認めない。人の好き嫌いがはっきりしていて特定の友人のみ交流がある。集団生活は向かない。日中は布パンツ使用だが、履いておらず畳を濡らしていることもある。夜間はリハビリパンツを使用している。紙パンツはかぶれるので使用したがない。

#### 【環境因子】

50歳の時に夫が他界。長男は東京在住でほとんど交流がない。長女は奈良県在住、月2～3回電話がある。自宅は木造平屋、室内はバリアフリー、玄関の上がり框が高く（29cm）住改にて段差解消している。玄関から市道までのアプローチが狭い（90cm）、浴槽が深い（60cm）。

### 4. 助言

#### 【理学療法士】

介入がなかなか難しいケースだと感じる。友人を介した協力体制を作っていければと思う。転倒要因として、高齢、下肢の関節症、痛み、痺れ等があげられる。転倒予防として、できればリハビリが介入ができたと思う。色々な課題もあると思うが検討をしてみてください。

#### 【作業療法士】

トイレについて、過活動膀胱があり、身体も動かない状態。トイレに間に合わない、タイミングが分からない等の理由が考えられる。間に合わない場合は、移動距離が長いことも考えられる。アラーム等で間に合うタイミングを計ってみたり、ポータブルトイレをおいて間に合う距離を測ってみるなどしてはどうか。タイミングが分からない場合は、衛生上パットを使わないとよくない。パンツを履いていないこともあるため、パンツを取りやすい場所に置いたり、すぐに選べる環境を作って、パンツを履きやすい環境を作ってみてはどうか。入浴時にバスボードを使っている。バスボード上であれば足を上げやすくなるため、足があがらない原因を探ってみる機会としてはどうか。

#### 【言語聴覚士】

義歯をしていないため硬いものが食べづらいということから、口腔機能低下に加えて、レトルト等の柔らかいものになっていると思われる。口腔機能低下予防のためにも義歯調整が大事。義歯がないと見た目も違う。プライドが高いため、見た目などからアプローチしてはどうか。また、熱が出やすくなっている点や逆流性食道炎既往もあるため、日頃から口腔内の清潔保持は大切である。

#### 【管理栄養士】

冷凍食品やレトルト食品の内容を見て、肉魚等栄養バランスが足りていないものをヘルパーに買ってもらうようにしてはどうか。病気があるため口腔の清潔を保って、体重増加にもならないように食事をとってほしい。長時間の立位が難しいとのことだが、できる機能を活かしながら買い物や調理等出来ることに取り組んでほしい。

#### 【歯科衛生士】

フレイル傾向が心配。義歯を使っていないのが問題だと思う。残歯だけではしっかり噛めないため食べにくい。唾液も減り、乾いたりむせたりしやすくなる。誤嚥や転倒リスク、認知症も進んでしまう。会話も減ると笑顔も減ってしまう。対策として、口のケアに歯ブラシ以外の物も使ったりしており美意識は高い印象。口の清潔を保ちたい、見た目をきれいに保ちたい、という気持ちの維持を図りたい。まずは今持っている義歯を使えないか確認してほしい。嫌がるようなら食べやすくなる方法を医師へ相談してみてもいいと思う。熱が出やすい状況から就寝時の誤嚥の心配があると思う。

#### 【生活支援コーディネーター】

サロンがない地域。独自グループはあるが本人と内容が合いにくいようだ。民生委員を通じた見守りや友人の訪問や電話で、好きな事を続けていけたらいいのではないか。また、友人が通帳管理をしているようなので、今後のためにも社協の日常生活自立支援等につなげていけた方がいいのではないか。

#### 【主任介護支援専門員】

本人の性格の難しさはあると思うが、本人の心情について考えてみるのが大事だと思う。勝気でプライドが高い中で、失敗やできないことが増えていく現実をどう捉えているのか気持ちに寄り添っていく視点を持つことは、認知症の周辺症状予防にもつながり大事だと考える。

### 5. 事例提供者の気づき、感想等

#### 【介護支援専門員】

性格が勝気なところに焦点がいきがちだった。出来なくなってきたことが増えている本人の気持ちに寄り添っていきたいと思う。リハビリへの介入も勧めていきたい。食事、義歯面も本人と話しながら進めていきたい。

#### 【ヘルパー】

特定の支援者に依存が強くなりがちなので、支援側同志で連絡を取り合って、良い距離感を保ちながら関りかたを考えていきたい。

#### 【福祉業者】

今後も本人にあった環境、入浴動作等に合ったことを提案していきたい。

### 6. 地域課題、政策提言

義歯、口腔ケアについて正しい情報の呼びかけ。